国思う勉強会 閣法案対策参考資料

中国共產党「対日解放工作」 平成二十二年十二月十八日 国思

への対峙

島津 義広

政治ブログ「博士の独り言」主催勉強会

### は

# 日本解放第二

めの配慮かと拝察でき得る脈絡が同 映りますが、一歩掘り下げれば、 入手した秘密文書とされています。偶然入手とは唐突な話に 人) が昭和四十七年にアジア諸国を歴訪した際に、偶然本解放第二期工作要綱」は、中央学院大学の西内雅教授 情報提供側の身の保全のた 「要綱」 の随所に窺えま

謀略、 諸事項の符合が説明しやすくなります。 たものであり、当時から現在にいたる迄、中国共産党の対日 内容は、中国共産党が対日革命工作員への謀策指示を集め 工作活動 が同文書の通りに続いていると認識すれば、 です。

西内教授の文書入手の年八月、 を掲 載し、 更に小冊子を発行しました。 国民新聞社 (当時) が特集

指摘もごもっともであり、

尊

重すべきかと思

ます。

カン

西内

教授なりの提

記

しか

要に応じて再訳をほどこし ら段落と語彙の修正を加える必要性を感じ、さらに、不明 こに再編させていただきます。 しながら、西内教授の日本語への訳出の機微を追いな 外国語 版の同 簡便ながら注釈を付けながら本 要綱」と比較しつつ、必 疑義もまた、次第に晴れ 供者への配慮があり、また、文書が最初から日本語で記され ていたわけではなく、入手した文書を同教 たものと考察すれば、 同文書の入手エピソードには、当時 て来るものと私は考察しております。 内容に入りやすくなり、  $\mathcal{O}$ 

分授が日-

本語に訳出

指摘される

期工作要綱」 の所 以につ 7

二年)に、アジア諸国を歴訪した際に入手した、とされる文 議論もあるようです。 あるため、文書の出自それ自体に、果たして、これは本当に かのエピソードについて、先ず、あり得ないことではない 書と謂われています。この瓢箪(ひょうたん)から駒が出た 学におられた西内雅教授 中国共産党から出た文書なのか、等々と。 と等々と。文書それ自体に対する疑義が唱えられているよう 合政府の形成」等、中国共産党が通常は用いないかの文言が この また、文書(日本語)の内容に、たとえば、「民主連 「日本解放第二期工作要綱」については、 (故人) が、 昭和四十七年 疑義を投げかける 中央学院 - (一九七

1

に符合している事柄が多い。この点が重要かと考えます。 す内容と、その後の同歳月における、いわゆる「日中間」の いることになります。その三十八年以上も前の文書が指し示 から通算しても、現時点でおよそ三十八年以上の歳月を経て えるからです。 その内容の示唆する事象、系譜それ自体が重要であると考 およびそれに関連する事象をつぶさに総観すれば、 一九七二年といえば、 同教授が入手した時点 実 が出来るからです。 うにしています。行く先々の国々が、日本に対してどのよう ある州立大学のアジア関連 な視線を持っているか。その一端を窺(うかが)い知ること の大学なりのアジア関連の図書館や資料室を覗(のぞ)くよ ではありますが、 海外の大学を訪問する時は、 の図書館でのことでした。 例外なく、 。専門外

そ

する人はいないはずです。 るからといって、しかし、万有引力の法則性それ自体を否定 しかし、そのエピソードが本当か、どうか。それが不明であ て万有引力の法則を見出した、 たとえば、ニュートンはリンゴが木の枝から落ちるのを観 とのエピソードがあります。 刑する、 冒頭部分には、中国共産党が日本解放に成功し、日本人民民 主共和国を樹立した時は、 と。そのことが明記されておりました。 日本の天皇を戦犯の主犯として処

最初に手にした文書の記述は英語でした。文書をめくると

の視点から読み解くことが肝要ではないか、と。そのように 関わるエピソードについては、右、考察を以 その内容の具体性とこれまでの事例との符合。 「日本解放第二期工作要綱」についても、入手に上 って、先ずはこう そ え、 み進んだことを憶えております。政治は専門外である私 に、 これは後にまとめた私なりの考察ですが、総じて同 文書の中で謂う「解放」とは侵略を意味します。この文言 中国共産党のおぞましさに目覚める思いでした。

### 中 共産党の対日工作

考える次第です。

こに置き、

同

この文書を私が最初に目にして読んだのは米国で、 また否定できない、

との考察にいたりました。

を体系付けてまとめ上げた、そのプロセスから出た可 つて、 沢東が存命していた中国共産党から、断片的に得られた情 中国共産党から直接流出したものである、と謂うよりは、か ただならぬ文書であることに気づき、全文にわたって読 西側と謂われた諸国の調査、 諜報機関が、 文書

毛

ができれば、可かしうりミントドラっしこうゝゝゝゝぃ・っちの大西内教授が存命であられる時期に、お訪ねして話を伺うことですが、確定的な情報には未だめぐり会っていません。もう少すのプロセスについて、さまざまな憶測や噂はあるようで

可能になるからです。のあまりの正確さ。それらに対する客観的な説明がそこから策の全容が見て取れ、同文書の内容と事例(事実)との符合また、そう認識すれば、中国共産党の意図する対日解放政

るのかもおれません。する、一種の外国からの警告の類であった可能性も考えられ

同年を調べてみますと、それを裏付けるかのさまざまな出るのかも知れません。

できれば、何かしらのヒントが得られたのかもしれません。一る各論では、 たく考えております。 解放第二期工作要綱」とを照合しつつ、講義を進めてま 来事が国内外にあったことが判りました。これから申し述べ 可能な限り、その後の一つ一つの 事例と「日本

って止みません。本日はご参集、大変に有難うございました。心と活動を、より多くの方と共有できるようになることを願り抜いて、行く先々の道程で一人、また一人の方と、国思う小さな国思う活動ですが、若輩ながら、あと四十年は頑張

(以上、本資料の冒頭として「平成二十年四月六日 連絡事務所にて」)



結された年でもありました。いうなれば、中国共産党への友

好に傾斜する当時

 $\mathcal{O}$ 

日本の動き。同文書の露呈は、

それに対

事例との符合におぞましさを知る

また、

西内教授が入手されたとされる一九七二年

は、

申し述べるまでもなく、

日中平和友好条約が締

和四

# 日本解放第二期工作要綱・体系目次

### Ą 基本戦略 • 任務・手段

Α 1 基本戦

2. 解放工作 組の任務

の第口項、

即ち「民主連合政府

田中内

| 関 の

成立以降の日本解放第二

一期工作組の任務は、上

第

期工

作の目

標

日本 この

人民民

主共和国

 $\mathcal{O}$ 

樹立

段階に

おい

て、

天皇を戦犯の首魁として処刑

になる野合政

以権)の

形成」の準

- 備工作を完成することにある。 (註・中国共産党の意のまま

Α

Α 3. 任務達 成  $\mathcal{O}$ 手段

### Α 1 基本戦 略

我が党の世界解放戦に奉仕せしめることにある。 本が現在保有している国力の全てを、 (中国共産党) の日本解放の当面の基本戦略は、 我が党の支配下に置き、 日

## が党

### A 3 任務達成の手段

全て対象者になさしめる言動の原則を示すものである。 される。 識者、経済人、他団体等)に代行せしめることによって達成 者、見えざる指揮者であらねばならない。以下に示す要領 定の言動を、 本工作組の任務は、工作員が個別に対象者に接触して、 即ち、 その対象者 工作者は最終行動者ではなく、隠れた使喉 (註・籠絡したメディア、 政治家、 所

に工作上の秘密保持方法については、別途に細則を以て指 っている。 本工作の成否は、終始、秘密を保持しうるかどうかに懸か よって、 工作員全員の日本入国身分の偽装、 並び

(第二期工作  $\mathcal{O}$ 目標

民

主連合政

府

 $\mathcal{O}$ 

形

成

1.

我が

国との

国交正常化

( 第

期

工 作

 $\mathcal{O}$ 目 日

本

0

無

血

解 放

(侵略)

は、

下 (T)

3段階を経て達成する。

Α

2

解放工作組の任務

### В 工作主点の行動要領

### 第 1. 群衆掌握の心理戦

第 4.

極右極左団体工作

3

6.

「政党工作組」で統

Ą

基本方針

В.

手段

1 1. 展示会・演劇・スポ ツ

2 教育面での奉仕

1

## マスコミ工作

1. 新聞 雑

2

2 2 3. 2. 出版 テレビとラジオ (単行本)

2 4. マスコミ部を設置し、

第3.

政党工作

3 3

議

員を個別に掌握

1.

連合政

行は

手段

3 2.

招待旅行

3

5

対社会・公明・

民社各党工作

Ą

基本方針

В.

手段

3 3

4

対自民党工作

諸工作を統轄

### 平成22年12月18日 国思 7 勉強会

5

5 5 5 5 5

7

「華僑工作部」で統

6

政治

・思想教育

. 5

中国銀行の使用を指定

1. 派遣員数・ 身分・ 組員の出

C 統轄事項

C C C . 2 3 指令・ 経費 関係文献 欧の取扱

### 第 5. 在日華僑工作

4 4

2

1

対極左団体工作 対極右団体工作

5 1 僑 の階級区分

2 工 作の第一歩・・ 逃亡防

3 4. 国籍の取得 工 作の第二歩・・青少年把

止

# 日本解放第二期工作要綱・本文

0

派遣を行う。

### 第 1. 群衆掌握の心 連戦

本人のすべてに中華人民共和国への好感、親近感を抱かせる。 駐日大使館開設と同時になされなければならないのは、日本 き立て、 「文を重んじ、 更に高まらせることである。 平和を愛する民族の国」というイメージを掻

る「輝かしい伝統文化を持っている国」「日

歩

は、

日本人大衆が中国大陸に対し、

今な 本文化

お持

来源 って

目的は、我が党、我が国への警戒心を無意識の内に捨て去ら正人 という、群衆掌握の心理戦である。 好感、 親近感を抱かせる

除去することにある。

■初期においては少ない方がよく、全然触れなくても構わない。 我が国の社会主義改造の誇るべき成果についての宣伝は、

右はますます孤立するという、二重の効果をなさしめようと  $\mathcal{O}$  $\mathcal{O}$ これ 謀略をやっている」等との呼び掛けを一笑に付し、反動極 日本人反動極右分子が発する「中共を警戒せよ!日本支配 は日本解放工作成功の絶好の温床となると共に、一 部

るものに限定してはならず、技術的に劣っている分野の選手 団をも数多く派遣し、 日本選手に学ぶという率直な態度を示

スポーツ選手団の派遣は、ピンポンの如く、

試合に勝

して、 好感を勝ち取るべきである。

0 ために、 以下の各項を速や かに、 且. つ継続的に実施す

る。

1

1

展覧会·

演劇・

スポーツ

するものである。

踊

团 中

民謡 0

団

雑技団、 美術品、

京劇

寸  $\mathcal{O}$ 

公演、

各種スポ

ーツ選手団

玉

書画、

民芸品等の展覧会、

### 1 2 教育面での

Ą 中 玉 語学習センター 0 開

舞劇団、 全国都道府県の 主要都市の全てに中国語学習センター

民族 舞 開 設 教師を無報酬 で派遣する。

6

もとより無制限とし、学費は無料又は極めて小額とする。半々とし、全て二十歳代の工作員を派遣する。受講者資格は、教師は、一名派遣の場合は女性教師、複数の場合は男、女

B.大学への中国人中国語教師派遣の申し入れ。

本のマスコミも大衆も、学生も許さないであろう。 の純然たる好意、奉仕の精神に対する非礼」を責めれば、日を申し入れる。 申し入れを婉曲に拒否した場合は、「我が国大学については日本政府文部省へ中国人中国語教師の派遣 熱が高まったところで、私立、公立の大学には個別に、国立 中国語学習センターを開設し、日本人青年層に中国語学習

していくものである。
数が受け入れればそれで良い。後は自然に受け入れ校は増加しかし、第一回で全勝を求める必要は無く全国大学の過半

C. 委員会開設。

組織する。 「中日文化交流協会」を拡充し、表向きには中日民間人で

をとる。せしめ、我が大使館は、これを正式に支援する方式せしめ、我が大使館は、これを正式に支援する方式「日中文化教育体育交流委員会」を開設して実施

作、組織工作を行ってはならない。いために、いささかも政治工作、思想工作、宣伝工然たる奉仕に徹する形態をとり、警戒心を抱かせな、お、本綱の全ての項目は、初期においては、純

## 第2.マスコミ工作

を作り上げるのである。 を作り上げるのである。 大衆の中から自然発生的に沸き上がってきた声 と前上げるのである。 大衆の中から自然発生的に沸き上がってきた声

ギー面の活動を行う」と教えている。
なものは、必ずまず世論を作り上げ、先ずイデオローのでは、必ずまが世論を作り上げ、先ずイデオローでは、必ずを記述します。

動 事 意志とたゆまざる不断の工作とが、これを生んだの の道へと追い込んだのは日本のマスコミではな 政府を幾重にも包囲して、我が国との国交正常化 実でこの 田 日本のマスコミを支配下に置いた我が党の鉄の 中内閣 成立 教えの正しさを証明した。日本の保守反 までの日本解放(第一 期)工作組 は、 者よりは、一人の編集責任者を獲得せよ」との原則を守り、 であったことを反省し、十分な人員、 の掌握下に置かねばならない。接触対象の選定は「十人の記 編集を主対象とする。 雑誌、 特に週刊誌については、過去の工作はは 経費

を投入して我が党

極めて不十分

た、この輝かしい成果を継承しつつ、更にこれを拡 作組員である。田中内閣成立以降の工作組組員もま る墓穴を、 日本の保守反動の元凶たちに、彼等自身を埋葬する 日本解放の勝利を勝ち取らねばならない。 彼等自らの手で掘らせたのは、 第一期工 担う者の任務である。

1. 新 聞

触 線  $\mathcal{O}$ 拡大。

接触線を堅持強化すると共に、残余の中央紙及び地 方紙と接点を拡大する 註 聞については、第 ・朝日、 毎日、 期工作組が設定した「三大 売の三紙)に重点を置く

> В. 「民主連合政府」について。

である。

床を作り上げること、 我が党に従順な 「民主連合政府」樹立を大衆が許容する のための世論造成が、 第二 期工作

かし、 「民主連合政府」反対の論調を高揚させてはならな いかなる方式かを問わず、マスコミ自体に「民主連合

政府」 敵の警戒心を呼び覚ます自殺行為に等し 樹立の主張を露骨になさしめてはならない。

連合政府樹立の陰謀を進めている」と絶叫するであろう。 右分子が、 この問題について無知、無関心であることが最も望ましい状 態である。日本工作組の工作の進展につれて、 「中共の支配する日本左派勢力は、日本赤化の第一歩として 民主連合政府」に関連ある事項を全く報道せず、 確たる根拠も掴み得ないまま焦慮に耐え得ずに、 日本の反動極 大衆は 派との関係は完全に断つ方向へ向かわせる。

大衆の親中感情を、

世

2

「論の圧力を形成し、

い。しかし、否定は真正面から大々的に行ってはならず、 は否定すべきな ゆのか? もとより否定しなければな 4

6

画的で慎重な、 一右の悪質なデマで、 且つ間接的な否定でなければならない。

強調させるべき日本国内での論調の方向

否定の世論を形成せしめることが望ましい。

C. 性

人間 の尊 重 自由、 民主、 平 莉 独 <u>\frac{1}{1}</u> 0 強

を肝に銘じ、

共闘賛美を強力になさしめなければならな

取り上げるにも値しない」というついう。「自由」とは、 > 「民主」とは、国家権力の排除をいう。 ここに言う「人間の尊重」とは、 旧道徳からの解放、 個 の尊重、 「平和」とは、 本能の開放をいう。 全体の 否定を

一不戦、思想の定着促進をいう。「独立」とは、

(日米安全保障)

の排除、

社帝ソ連への接近阻止をいう。

米帝との提携

総力を挙げて更に高め、 蒋介石——2・2: テレビとラジオ

の国交樹立を、社説はもとより全紙面で取り上げて、 朝鮮民主主義人民共和国並びにベトナム民主共和国と 政府にその実行を迫る。 強力な る。 に留意し、「娯楽」として利用することを主点とすべきであ 政府の人民に対する意志伝達の媒介体ではない。この点に特 A. これらは、 資本主義国においては 「娯楽」であって、

を高く評価して鼓舞すべきである。 に在野党の反政府共闘には無条件で賛意を表明し、その成果 主党に対する在野諸党の反政府活動を一貫して支持する。特 (3) 政府の内外政策には常に攻撃を加えて反対し、 自由民

大衆が異なる政党の共闘を怪しまず、これに馴染むことは、 野諸党の 連合政 府樹立を許容する最大の温床となることと

在野

るさとの歌祭り」等の、 醒ますものは好ましくない。 しい。その一方で、スポーツに名を借りた「根性もの」と称 い上げる劇または映画、本能を刺激する音楽、歌謡等は望ま される劇、 具体的な方向を示せば、「性の解放」を高らかに 映画、 動画、 または歴史劇、 日本人の郷土愛、 映 画 民族一 歌謡並びに「ふ 体感を呼び 謳 (うた)

をより多く、 後者をより少 なくあつかわせるように

は、極右分子の誹謗を困難ならしめるよう配慮させ

ね

ば なら

我 々は誘導せねばならない。

 $\mathcal{O}$ 価 値は 意図を反映しやすく造るものである。目的意識を持って画 В. その意味で、 極めて高い。 テレビのニュース速報、 画面 は真実を伝えるものではなく、 実況報道の利用 我々

面 を構 成させなければならない。

\ <u>`</u> ために、 た諸点をそのまま適用するが、日本人に警戒心を持たせない С 極めて徐々に、 事 解 説 教養番組等に 少しずつ注意深くなされねばならな ついては、新聞に うい て述べ 著者を告訴するなど根絶を期すべきである。

2 3 出 版 単 行 本

易いものを多面に亘って出版せしめる。 り上げさせる。 主婦が興味を抱く料理、 Ą が国 の好感、 我が国を題材にした風物写真集、 親近感を抱かせるものを、 育児所の紹介など、受け入れられ 随 第一に取 筆、 家庭

 $\mathcal{O}$ 

В 社会主義、 かし、 我が国の社会主義建設の成果、 毛沢東思想などに関する理論的著作も好ま 現況について

A 歪み、欠点について、 日本政府に厳重に抗議すると共に、 に対する誹謗、デマで両国関係を破壊するものであるとして 言動は、単行本に進路を求めているが、これらに対して、 道を絶対に放置してはならない。これらについては、 は手段を尽くして粉砕せねばならない。 特に、社会主義建設の途上で生じる、止むを得ない C.マスコミの主流から締め出された反動極 真実を伝えると称してなされる暴露報 出版社主、 右の 反中国 我が国 · 若干 Z  $\mathcal{O}$ 

習え」として、出版界における「性の解放」 せしめるべきで、 D. 一般娯楽面 性描写、 の出版については「デンマークの 猥褻本の氾濫は望まし を大々的 進歩を見

る者全てを指す。 とは、凡そ文筆を以て世論作りに 筆業者」の獲得である。 または右派に属しない、中間の動揺分子をいう。「文筆業者」 E. 単行本の出版についての今一つの利用法は 「中間層」とは思想的に純 いささかでも影響を与え得 中 正 左派 蕳 層 文

をなして接近し、まず「政治的・思想的立場の明快さを欠く」、党であり、この2点は純正左派による「日本人民共和 彼等に対してはあるいは原稿料を与え、或いは出版の支援 著作をなさしめ、 徐々に我が陣営へと誘導する。

2 4. 本工作にマスコミ部を設けて、 諸工作を統轄する

を益するに留まり、 立へと進む際の阻害要因となることは明らかである。 しかし、この方式を取るならば、社会党、 且つ最大の単独多数党は依然として自民 公明党の 発言

自民党のみではなく、社会党、公明党、民主社会党もまた、

我が党が支配すべき政党であることを忘れてはならない。 無産階級の政党ではなく、従わなければ最終的には消滅か 本工作組に与える「民主連合政 府の樹立」という任務は、

元に行わ 三期の 日 本解放の第二期における工作目標に過ぎず、その実現は第 日本共和国 「日本人民民主共和国」 れる連合政府工作でなければ、行う意義は全くない。 (日本自治区) 樹立 樹立の為の手段に過ぎない。 へ直結した、 貫的計 画

3 2. 議員を個別に掌握

の支配下に置く。 下記により国会議員を個別に掌握して、秘密裏に本工作員

第一 期工作組がすでに獲得したものを除 残 余  $\mathcal{O}$ 議

### 第 3· 3 1 連合政府は手段

を行って選出される。 日 本 0 内閣総理大臣は、衆参両院の本会議で首班指名選挙 両院で議員総数の過半を掌握すれば、上

得るのである。

日

本人の直接的な意志とは関係なく、任意の者を総理となし

議院では約六十名、 七二年七月の現況で言えば、自民党の両院議員中、 参議院では十余名を獲得して、 在野党と

九

する。 一行動を取らせるならば、野党連合政府は後に容易に実現 D.

員全員に対する接触工作ラインを、少なくとも4段階設定す その議員の弱点を利用する。

ついては、その秘書、 B.上の他、各党の役職者及び党内派閥の首長、有力者に を少なくとうことです。
家族、強い影響力を持つ者の3者に、一の暴룧等、ヽゝ・
家族、強い影響力を持つ者の3者に、一順ならざる者に対しては中傷、離間、 権力、 いかなる手段を使用してもよい。 名声等、 欲するものを与え、 脅迫、 又は約束 秘している私

個別に接触工作ラインを少なくとも二段階設定する。

C<sub>.</sub>

して、「議員身上調査書」の拡充を期し、 て細大漏さずに情報収集する。 上の接触線設定後、 各線を経て知り得る全情報を整理 公私生活の全貌に いの遂行として、 いなる困難、醜悪なる手段も厭うてはならず、神聖なる任務 敵国の無血占領が、この一事に懸っていることを思い、 やり抜かねばならない。

右により、 各党ごとに、議員については、「掌握すべ

については「連合政府の樹立にのみ利用しうる者」(註・後 

段に記す小沢一郎氏もその一人と認識して差し支えない)上

「連合政府樹立より共和国成立に至る過渡期においても利し A.

用し得る者」とに区別する。

3 3. 招待旅行

る、 上の接触線設置工作と並行して議員及び秘書を対象とす 我が国への招待旅行を下の如く行う。

旅行

て定める。

各党別の

団

寸 体

の人数は固定せず、

実情に応じ

勢力を削ぎ、発言権を低下せしめ、 ここに言う「打倒 ・排除」とは、 その議員の党内における 孤立に向かわせることを 域別」「その他」そのいずれかにおくかは慎重に検討を加え、 但し、団体構成の基準を、「党内派閥」「序列」「年齢」「地

工作員の主導の元に、我が方に有利になる方法を採らしめる

よう、 工作せねばならない。

E. 「掌握」 又は 「 打 倒 」 は調査によって明らかとなった

寸

|体旅行への参加等、

ごせしめるよう工作せねばならない。

挙区、 В. 選挙基礎 党派を超えた議員旅行団。 盤団体、 出身校を子細に考慮し、 議員の職 業、 多種多様の旅当選回数、選 当選回数、 取ってはならないことは先に述べた所であるが、 の二党に分裂せしめることも好ましくない。

これは、一握りの反動右翼分子が民族派戦線結成の拠点と

右

派

左

派

が C. 駐日大使館開設後一年以内に、 全議員を最低1回、 我

行団を組織せしめる。

者に対しては、 国 自民党議員中の反動極右分子で招待旅行への参加を拒む へ旅行せしめねばならない。 費用自弁の 個人旅行、 右派自民党を利用する可能性が強いからである。

形式の如何を問わず、 議員旅行団以 我が国へ一度旅 外の各種 又表面的には思想、 とも大衆の目にはそう見られるよう工作すべきである。 には権力欲、 従って、多数の小党に分裂する如く工作を進めねばならず、 利害による分裂であることが望ましく、 政策の不一致を口実としつつも、 実質的

D. 旅行で入国した議員、秘書の内、必要なる者に対して、

を秘密裏に行う。

 $\frac{3}{4}$ 対自民党工作 国内で「C・H・工作」

В 手段

自民党内派閥の対立を激化せしめる。

て受けて曲りなりにも保持していく。 れる現象で通常は総選挙を経て若干緩和され、 1 自民党総裁選挙時における派閥の権力闘争は常に見ら 0 の党とし

衆議院では60名前後、参議院では10余名 連合政府を樹立するというが如き、 小策を の不満感の扇動等を主点として、第一期工作組は工作を展開 中である。 続と激化、 今回はそれを許してならない。田中派と福田! 総選挙後、 田中派と大平派、三木派、三派の離間 若干の変動があっても、 派閥 派の対立 0 中 対立 間 五  $\mathcal{O}$ 派 継

を脱党せしめて、

自民党より、

新自由クラブ、

新生党などが該当する)。

自民党を解体し、

多数の小党に分裂せしめる(註・過去の

13

0) <u>\f\</u>

はもとよりである。

激化せしめるという工作の原則は変わらない。

2 派閥対立を激化せしめる最も有効な方法は、 党内の 非

2 日 本共産党を含めた野党共闘を促進する。 分裂工作は行

わ

な

派に個別に十分な政治資金を与えることである。

主流派となって政治活動資金の調達に困難を生じている各

は方法のみであり、 政治献金は合法であり、これを拒む政治家はいない。 工作員からA AからBへ、 B から C 日

へ、CからDへ、Dから議員又は団体という如く間接的に行

うのは言う迄もない。

問題 自民党の 項に 同じ。

В

手段

 $\overline{\mathcal{O}}$ 3 有効な手段となるが、 先に述べた議員個人の掌握は、 派閥対立激化についても活用する それ自体が連合政府樹 **り、** 対政党工作は「連合政府樹立工作」の中核をなすものであ

£ 3. 6. 「政党工作 組 で統

班、 に派閥名を冠した派閥小組を設ける。 社会党班、 本工作組に政党工作部を設け、その下部機構を、 公明党班、 民社党班の四班に分かち、 自民党

3 5 対社会・ 公明 民杜各党工作

A 基本方針

1 各党内の派閥闘争を激化せしめ、 派閥というに足る派閥なき場合は、派閥を形 工作による操縦を容

易ならしめる。

4 1 対極右団体工作

成せしめる工作を行う。但し、党を分裂せしめる必要はなく、人 たって、 我が党は日本解放、日本人民共和国樹立工作を進めるに当 日 本の極右団体に対する対策は必要であろうか

## 第 4. 極右極左団体工作

か 必 要だとす ħ ば V か なる対策をたてて工作を進めるべ き る。 否、彼等がそれを強調すればする程、 その仕組みを我が党は造り上げたのである。 民衆は彼等か

5

L 得える中間層に属するものではなく、水火相容れざる敵で、ても、 第一に認識しなにおにならない彼我の関係は、彼等は利用 八百 ることである。 第 一に認識しなければならない彼我の関係は、彼等は利用

作の対象として取り上げるに値しないものであろうか? 八百に分裂し、マスコミを敵とし、直接に民衆へ呼び掛 効果が上がらぬ彼等は、 翼なきタカであろうか? 工 け

数は約百八十余。 では、彼等の現有勢力はどうか? シンパも含めて人数は約四十万、 れば約八百団体、総数百万未満で問も含めて人数は約四十万、全国には 東京における極右団体 が

ここで我々は、

方の弱点の所在を十分に承知しておかなければならない。

日本解放工作の最も困難なる点、

ち、

一人一党的なものも含め にするには足りない。

,握して、 世 の動 我に有利なる世論作りに成功した。 向はどうか? 我が方は、逸早く「マスコミ」 を 成立させることは合法行為で可能である。

2 右は日本人大衆の意志とは、 関連なく行

制度を徹底的に破壊し、 玉 面的に支援する 3 スコミは右 し の エ 一作が順温 調に 進 むよう、 背後に隠

義に直結するもの 家・民族を口にすることが、 米帝が日本の教育理念、 であると教育せしめたことは、高く評 あの悲惨な敗戦を齎した軍国主 価さ

れ

極

うスロー

ねばならない。

あ

るが、

敗戦日本を米帝が独占占領したことは悪質極まる罪悪

で

右は、嘗て輝かしい成果を収めたように、「国家」「民族」 ガンで民衆に近づく道を封じられているであ りに武装反革命戦を惹き起こせば、 官憲によって弾圧粉砕されることは間 害の素因となる恐れは殆どない。 上の三点から連合政府樹立については、極右勢力がその もし彼等が連合政 世論の総攻撃を受け、 違 日 <u>\f\</u> 本 前 阻

連合政府 国会で

首班指名選挙で、

1

国会議員の過半数を工作組の掌握下に置き、

我が方の望む人物を選出させ

題 は、 府・共和国成立」という革命図式が単なるデマでな、連合政府樹立直後の民心の大変化にある。大衆は

 $\mathcal{O}$ 

ば

なら

5 った議員への怒り、 ミへの怒り、彼等の意志を完全に無視して首班指名選挙を行 く事実だと直感するであろう。彼等を騙し続けてきたマスコ 「連合政· が組織されて爆発したらどうなるだろうか? 生活様式が一変するという恐怖感、これ 暗殺、 を決行するよう、

りおり、 兄日本の政界、マスコミ界、 感情的 C<sub>.</sub> 襲撃はもとより、 各団体毎に、 怒りに油を注ぎ、行動者こそ英雄であると焚き付け、 対立、 利 害の衝突を激化させね 早期に爆発せしめる。 我が大使館以下の 言論人等の進歩分子を対象とする 彼等の危機感をあ 公的機関の爆破等

時的にせよ、 るであろう。 武装決起に背を向けないどころか、それを望み、それに投じ たちまちにして「百」「千」の力となろう。大衆は、彼等の この これ程大きな危険はない。 時点で、 もとより、 内戦は避けられず、 統一された、 最後の勝利は我が方に帰するが、一きせ、人民の右派嫌悪を更に高め、 組織を操る極右勢力が存在すれ 彼等の微小な「一」 それは我々の利益とはなら の力は、

し、官憲をして、 なさしめ、賠償を要求し、マスコミには、 備しておけば実害はない。 我が公的機関の爆破は建物のみの損害に留め得るよう、 犯人の逮捕はもとより、背後団体の 事後、 日本政府に対して厳 定着させる。 全力を挙 げ 解散 て攻撃 抏

接触線を通じて誘導する。

これは蒋介石一 生むよう配慮せねばならない。 る、と日本官憲に信じ込ませる如く工作して、二重の D. 右のため、必要な経費と少量の米製武器弾薬を与える。 派が日本の極右に資金・武器を与えたのであ

以 上 の分析に従えば、 対策は自(おの)ずと固まってくる。

とって粉砕せねばならない。 Ą 極 右のマスコミ奪回の 反激戦に対しては、常に先手を

В てはならな 極 右 寸 体 の大同団結、 V) わゆる離間、 および連携工作を絶対に実現せ 中 傷工作を行って、 彼等

4 2 対 極 左 寸 体工作

をして実施せしめる。

本工作は工作組長自ら指揮

する直属機関

P

Т

C<sub>.</sub>

その保護については前項に同じ。

と一定任務を与え得る者と区別して利用する。 学生極左団体は、一 定任務を与え得ない団体 (又は個 め、 ちに 又、その犯人との接触に使用した中間連絡者に対 官憲の追跡捜査を許してはならない。 P T 機関」 をして必要、 適切なる処置を構ぜせ しては、

直

発せしめ、 前者には、資金・武器を与えて小規模な武装暴動を頻 全国的な社会不安を高めると共に、日本官憲をしつ 実施せしめる。 F. 本工作は、 対極右工作と共に「P・T・機関」をして

て奔命に疲れせしめる。 犯人及び直接関係者は、駐日大使館

において保護し、 必要ある場合は我が国の船舶で我が国 [ 八逃 | //

亡せしめる。

## 第5. 在日華僑工作

害となる者に対しての暗殺・脅迫・一時的監禁等を使用する。 後者には、各階層の極右分子中、我が工作の著しい阻

5 1 華僑の階級区分

約五万三千名に上る在日中国人は、

現在の思想、

を問

級 言動

の敵

「犯人引き渡し要求」又は 前二項に関連して起きる、 「捜査への協力要請」 日本官憲による我が大使館 は、 そ あって、 わず、本質的には資産階級、小資産階級に属する階 無産階級も同志ではない。

実無し、 必要無しとして断固拒否する。

へ の

D.

 $\mathcal{O}$ 

続いて、マスコミの全力を挙げて官憲の不当を攻撃せし 国交断絶も辞せずと圧力を加え、 官憲の べき敵」に属するものとして規定し、 の敵」と規定してはならず、統一戦線工作における「利用す として利用し尽くさなければならない。 しかし日本人民共和国成立以前においては、 いずれは我が党の要員 彼等を 階級

Е 逮 捕された犯人に対する援助 í 切行ってはならない。 5・2.

工作の第

歩

逃亡防

止

要

日

本政府へは、

、求を制約せしめる。

立

国交正常化が近づくにつれて、彼等は必然的に動揺し不安国交正常化が近づくにつれて、彼等は必然的に動揺し不安

不安の第一は、我が駐日大使館開設後、祖国へ帰国させら、人及

のではないか、との不安である。
又は送金外貨を帰国後、中国銀行に預金させられ封鎖されるれるのではないか?
その際、在日資産を処分して得た携帯

運動」に従事していた者の罪を恐れる恐怖不安である。第二は、蒋介石一派の言動をとっていた者、及び「台湾独

工作員と共に、彼らの不安解消に全力を挙げ、 の実例で証明されていること」等を挙げて、 護されており、それが外国人に及ぶことは、 ること」、「民主国日本においては、 保証する所であり、 これに対し 「居住の許可、 中共大使館の干渉し得ざる内政 私有財産の保護は日本政府 思想・言動の自由が保 第 国府大使館時代 彼等に日本残 期、 干渉があ 第二期 0

南アジア各地へ逃亡させてはならない。
に日本に留(とど)置くことであり、決して台湾、または東対在日華僑対策の第一歩は、彼等を掌握して利用するため

留を決定せしめなければならない。

5・3. 工作の第二歩・青少年把場

及び青年を、先ず掌握することである。 | 工作の第二歩は、華僑の小・中・高校・大学等の生徒学生

量に寄付する。 同時に、政治色のない図書館を大無条件で与え使用させる。同時に、政治色のない図書館を大赴き、祖国からの贈物として、施設拡充に十分なる寄付金をA・駐日大使館開設と同時に、大使自ら各地の華僑学校へ

展覧会に、青少年を無料で招待する。 B.祖国から来日するスポーツ選手団の試合、各種の公演、

を勝ちとることに全力を尽くす。想・政治教育を行わず、忠実熱心な教員として全生徒の信望の費用は大使館で負担する。教師は初期においては一切、思、で、華僑学校へ女性の中国教師一名を派遣する。この一切

も漸増するが、その時期を誤ってはならない。
あことの2点を任務に加える。教員数も、教員に与える任務抱かせること、及び生徒を通じて自然にその家族の状況を知続いて、語学教育を通じて、全生徒に我が国への祖国愛を

時 『点で、 D. 観光旅行の促進。 祖国への観光旅行へ招待する。この後、 派遣教員による生徒の掌握が進んだ 政

次第に、

治 ・思想教育を行って青少年を完全に掌握する。

5 4 玉 籍 の取得

パ スポート発給申請の受理を開始するが、決して強制しては Ą 駐日大使館開設後直ちに、在日華僑の中国国籍の取得、

ならず、且つ受理期間を制限してはならない。

という形式を取らせねばならぬ。時間が掛かることは問題と 飽く迄も、彼等が個人の意志で決定し、自発的に申請する

するに足らない。

掌握せる青少年に「中国人が中国の国籍を取るのは当然の

ことである」との考えが徹底すれば、彼等は自然に両親を説 これ青少年の自発行為であり、子供と共に行動する親の行

為も又自発的行為であることは言う迄もない。

0 秘密交渉申し入れ、 B. 日本政府に対しては「在日中国人の 下記を要求する。 国 籍問 題について」

1 在日中国人の日本への帰化を認めてはならないこと。

る者に対しては、各地の在日居留期間が満期となる際、 期間の政治延長許可を与えてはならないこと。 2 在 日中国人で中国国籍を取得せず、 無国籍者を自称す

持者に、日本居住を許可してはならないし、旅行入国をも 3 蒋介石一派が発給するパスポートを認めな その 所

めてはならない。 つの中国を作る陰謀に該当する最も悪質な反中行為である 中国人について、2種類のパスポートを認めることは、二

5 5 中国銀 行の使用を指定 ことを認めること。

全ての日本商社に口座を開設せしめる他、 兆円に達している。 て各地に支店を設ける中国銀行は、中国との貿易に従事する 在日華僑の大部分は商人であり、その年商総額は約 駐日大使館開設と同時に、 華僑については、 日 本に進出し 1

等のスローガンの

元に「中国銀行への預金運動」を華僑自体

1

祖

展開させる。

ば その大部分の ならない。 資産 を中国銀 行 預金せ しめる如く工作 せ ね 国籍となって日本に居住できない」との不安を煽る。

3

華

僑仲間の密告を

祖国

0

忠誠行為」として奨励す

る習性を持つ動物である。 В. 資産階級は狡猾無比で、資産を分散隠匿して保全を図 正面からの説得で、 取引銀行を中 ることを暗示する。

玉 「銀行一本に絞ることはあり得ない。

抗し移行することは困難となった段階で、下の諸点を実施す  $\mathcal{O}$ 青少年 国籍問題につい . О 掌握、 ての要求を入れ、最早我が大使館の意志に

5 6. 政 治 思想

五万三千の華僑を、 国籍を取得し、預金を中国銀行に集中せしめた後にお 思想教育を開始する。 日本解放の為の一戦力となすべく、 政治 いて、

国の銀行を使おう」「事実で素朴への忠実を示そう」 5・7. 「華僑工作部」

「華僑工 作 部 を設け、 全工作を統轄せ める。

本工作に

使館開 C 本工作員 設と同 、の組員は、 派遣員数・ 時 に8百名、 組長以下約2千名を以て組織 身分・ 乃至1千名を派遣 組員 0 出身

以後、

がする。

大 増

と共に、

父母の言動を監視せしめ、実行しない場合は摘発せ

1.

の先鋒隊として宣伝、説得工作をなさしめる一

青少年に運動

効期限の延長申請を大使館は受理しないであろう、と意識的 する。

ハートの

有

なデマを口から口へ伝えて、

「延長申請が許可とならねば

無

2

預金を中央銀行一本に絞らなければ、パスポ

C

2

れる。

中国銀行は、日本国内で華僑及び日本商社より吸収す

本工作の為に支出する。

紙特派員」「中国銀行員」「各種国営企業代表又は派遣員」「教 組長以下全員の公的身分は「大使館員」「新華社社員」「各

の身分で赴任する。

責任者、 みの指揮を受け、工作組の工作に専従する。 組員は、その公的身分の如何に拘らず、全て本工作組長の 及び特殊工作を行う者の 他、 全員 「第四十八党校」 組員は、 部の

本部の出身中より選抜する。

С • 3 指令・ 関係文献の取

組 長、 本指令、及び工作 副組長のみに限定する。 組織系統表、工作員名簿等の下達は

В.

関係文献は全て組長自ら保管する。

C<sub>.</sub> 関係文献 の複印、

筆写は厳禁する。

より個別にその所管事項について、指令内容を伝え記憶せし D. 工作組 の各部責任者に対しては、 訓練期問中に、 組

本工作での必要経費は、全て中国銀行東京支店より支出さ める。

る資金中、銀行業務の維持に必要なる額を除き、残余は全額、上 員に担当せしめんとする事項についてのみ教育訓練する。 E. 組員に対しては、その所属する各部責任者が、 組

ものであるから、将来において預金者に返還することを考慮 預金は、 日本人民民主共和国成立後は、全額没収する

に入れておく必要はない。

に連絡し、 本工作組長は、 資金運 常に中国銀行東京支店、党支部書記と密接 用の円滑を図らねばならない。

(以上を国思う勉強会の本文資料として用いる)

### 中 共産党の傀儡 かか いらい) の要

## 中国共産党の尖兵的工作機関「公明党

ます。

「非核宣言」を行い、

縁なのかもしれません。

会長)の弟子たちが、その中共と親密になったのも何かの

きます。まだ、

中

-共の公明党結党の約

一ヶ月前

0

十月十六日

してい 二代

初の核実験を東トルキスタンで実施

「核」を嫌った戸田

[城聖氏

に、中国共産党は

を称賛したい」と高く評価した」とあります。 忘れない。太田代表の中日関係を強化したいとの政治的意思 視し、国交正常化後も中日関係を推進してきたことを永遠に れた事例が印象的です。 「会談の冒頭、 平 成 した太田昭 十九年年一月八日、人民大会堂で胡錦濤氏(国家主席) 胡氏は、「公明党が結党して以来、中国を重 宏氏(公明党代表)の様子について報じら 公明新聞 (同一月九日付)によれば、

る対日工作機関、と認識すれば事の次第が判りやすくなるで く傍観して来たのもまた事実です。いわゆる、「中国」を「親」、 虐殺行為、 国共産党によるチベットや東トルキスタンにおける膨大な しょう。 「朝鮮半島」を「兄」と崇拝する池田大作(名誉会長)率い 創価学会は、一応は およびその後の人命軽視の実態を悉 「宗教団 体」の立場をとりながら、 (ことごと)

れ以前から中国共産党との浅からぬ関係にあったことが判 t 出 連盟と称していた創価学会の政治組織が、本格的な衆議院進 ŋ [を意図して政党を形成する 以前の一九六四年十一月十七日です。それまでの 公明党の結党は、いわゆる日中国交回復(一九七二年) THE KOMEITO J° その 「結党以来」、 「党」となりました。 否、 実施的にそ 公明政治 英文名称 ょ

と認識して差し支えありません。 れ伏し、 本側)の貴重な「連絡塔」であり、 内通し、 毀日活動をもって 卑屈 「日本」を売り渡す存在 にも中国共産党にひ

いわば、その存在は、「対日解放工作」における受け側

(日

本国内では反共政党を売り看板にしながらも、しかし、 毛沢東が健在なりし「文革」開始以前から、こ トと組織を挙げて宣伝活動をする。 や称号を与えておけば、 煽 (おだ) てれば資金を出す。 自画自賛しながら、 配下の学術 そのように思慮もない 組織等 「中国」 から勲章 「中国

 $\mathcal{O}$ 

中共

中国

[共産党)

と親密な工作機関であった、

と指摘で

その正体は、

日

遠の指導者 (会則)」 ほど、 中国共産党にとってあつかいや

すく便利な存在はないでしょう。

## 実態を物語る資料

日

中国交回復」に関わる事前資料の中には、「日本公明

[3]「日蒋条約」は不法であり、 破棄されなければならな

あって、台湾問題は中国の内政問題である。「台湾帰属未定」論

[2] 台湾は中国の一つの省であり、

中国領土の不可分の一

部で

紹介します。 しています。その部分を箇条書きにし、 党訪中代表団と中国日本友好協会代表団の共同声明」が存在し (以下、資料から引用) 本資料にあらためて H 行為であり、 装力を撤退しなければならない。 [4]アメリカが台湾と台湾海峡地域を占領していることは侵略 アメリカは台湾と台湾海峡地域からそのすべての

日本公明党訪中代表団と中国日本友好協会代表団の共同声明

日 中国交回復五条件)一九七一年七月二日

より 日 本公明党代表団(一九七一年六月十六日~七月四日)の声明

代表する唯一の合法政府である。「二つの中国」と「一つの中国、 [1] 中国はただ一つであり、 中華人民共和国 」と「一つの中国、国政府は中国人民を

つの台湾」をつくる陰謀に断固反対する。

の合法的権利の回復を妨げるすべての陰謀に断固反対する ープの「代表」を国連から追出さなければならない。 事国としての中華人民共和国の合法的権利を回復し、 [5] 国連のすべての機構での、ならびに安全保障理事会常任理 蒋介石グル 上記の 中国

(以上、 資料からの引用

武

記

.憶の読者もおられることと思います。

正

### 中 ・国共産党に媚び、 台湾を利用する 「創価学会」

て、

中国 同 [日本友好協会代表団からは『 声明(一九七一年七月二日 日 本公明党訪中代表団からは 北京に 団長 団長 て)の署名者とし 王 国権、 竹入義勝、 副団長 副 徐

寸

長

浅井美幸』とあります。

この会談に参加した』と記されています。これらの名前をご 木良明、 また、 それに併せて、 大久保直彦、 渡部  $\neg$ 日本側からは、 郎、 三ツ谷光男、 公明党代 沖山雅 表団 彦が 団員 との規模でした。

学会 (公明党) らも、特有の二枚舌を用い、 ることを指摘できるでしょう。 中国共産党に媚び、 の姿は、 工作集団 台湾を売り渡す声明を残し 台湾政府関係にも媚び入る創価 <u>の</u> 一枚舌、 欺瞞に満ちてい な が

ろこれらを食い潰し、その上に生き延びる存在であることが 主党と同 票田とし あらためて問われるべきです。 加えて、 か認識 良識のみなさまにおかれては、 国民の安全と生命と財産を守るどころか、 L ていない公明党 (創価学会) 所詮、 は、 日 現下 本国 む  $\mathcal{O}$ 民 民 を

# 「胡錦濤」に拝謁する六百人の「小沢大訪中団

## 同行議員を貢物

した。 大訪中団の行程は、 されて来た民主党の 秘書や後援者も含めれば、「総勢六百人人超!」 最近の典型的な事例の一つとして、恒例行事のように展開 その規模は、 平成二十一年十二月十日から四日間」 「国会議員だけで百四十四名。 「大訪中団」を挙げることが出来ます。 (報道誌 同行する 面

### 60人「小沢大訪中団」 胡錦濤」に"拝謁"する

団を中国に遣わし、銀や絹 時の権力者は、数百名の一日本は中国の「臣」だった。 を貢ぐ代わりに、貿易を許

内 うする?。"行く?" など、 慶 疑心暗鬼になり、議員は。ど ないとマズイのでは? んが名誉団長なので、行か 数十枚も配布された。勿論 に、訪中のパンフレットが 日間、党の訪中団を率いて 幹事長が、12月10日から4 「10月半ば、党所属の議員 そして今。民主党・小沢 れば、総勢600人超! て噂が出る始末」 満・国家主席と「記念撮影」 な子定は、1日目に、胡錦 遊山」ばかり。唯一具体的 現場の見学といった「物見 「万里の長城」見学や、教育 行する秘書や後援者も含め 会議員だけで144名 尤も、3泊4日の日程は、 出来上がった一行は、国

会期延長をたった4日に留 白押しの先の臨時国会で、 だが、小沢氏は、法案目

中国に媚びる「影の首相」

思わないはず。同行議員

民主党

た。特に、小沢グループの腹の探り合いをしていまし 受け取ったようで。議員 若手議員は『強制参加』と せなければならない。なん 評論家・石平氏は、中国 胡錦濤への貢物です。中国 は、まさに「晴れ舞台」な 得した小沢幹事長にとって の握手にまで応じました。 が胡錦濤に"拝謁"するよ いた」(前出・関係者) うなもの。昔の朝貢そのも 員を率いて訪中とは、小沢「記念撮影のために国会議 チルドレンを従えての訪中 サービスだ。と大感激して 撮影ばかりか、何と一団と 「訪中は日本の恥」 と、厳しく断じる。

週刊新潮平成 21 年 12 月 17 日号 (P36)

えられましたが、 平成二十年十一月の大訪中団が「総勢四百五十五人」と伝 それを三割以上上回る規模となりました。

とくらいだ」と紹介しています。 体的な予定は、 この一行の日程について、同誌面では、「「万里の長城」見

訪中は、まさに「晴れ舞台」なのだ」とあります。 、権を獲得した小沢幹事長にとって、チルドレンを従えて 沢 郎 氏がこの大訪中団を率いる理由について、

伝わって来ます。 示すための中国共産党詣である、と。その様子がありありと上 をライフワークにして来た小沢一郎氏個人の、見栄と権勢を 事実とすれば、良識の予測に違わず、同国の「長城計画」

的 訪中それ自体が、 す小沢氏の虚栄のための「貢物 な事例に他なり 子る民主党国会議員やその関係者は、中国共産党にひれ伏 石平 氏 0 治摘: が紹介されていますが、いわば、小沢氏に同 /ません。 小沢氏の公職 「私物化」の行状を示す典型 (みつぎもの)」に過ぎず、

# 税金を、小沢氏虚栄の遊興費に

胡錦濤・国家主席と「記念撮影」が出来るこ一であろうことは、同氏の特質を考えれば推察に難くありませ

N る可能性もある。ということは、民主党政 に、この大所帯の集団を観光旅行へ行かせるため 納税しているにも等しいことになります。 一憂極まるこの時局に、まして、日中間の問題には何ら触れず そうであるとすれば、同党への政党助成金から計上してい 権によって内患外

# 罠にかかった政治家、要人は屑同然

○ 多くのメディアは、かくなる認識と警戒感を持たせぬよう よう。昨今の裁判の不可解な判決、ひいては政界にみられる 中国共産党からそう仕向けられている、と認識してよいでし 日工作の内産物と認識してよいでしょう。 であることが指摘できます。いずれも、以上の尖兵による対 国益と党略を倒錯したかの政治家諸氏についてもまた同様

くに、 ただし、巧妙なる中国共産党の対日工作は、当然のごと 諸々の多角的なプロセスにおいて、 あからさまな指令 たかも指令室に部下を呼び、司令官が指令を直接伝えるかの

文に照らし出すことができます。一般に、指令といえば、

あ

本

それらは対日工作の手法の一端であることが「要綱」の

映画のような場面を連想しがちですが、しかし、

現実は映画

類の「跡」を残すようなことはしません。

る者は、たとえば、事故や医療ミスなどによる入院死などを一 さらには、証拠となる得る状況を知る者や、証人となり得 よりも奇なり、と謂えるのかもしれません。

とえば、一端「罠にかけた」標的国の政治家や各界要人には、 れにさらに巧妙さと残虐さを増した中国共産党の手法は、たる 来ました。これらは、 装って消滅せしめるかの実態がかなり以前から指摘されて 元来、コミンテルンの手法であり、その身近に違和感があれば

ば、隷中の政治家やスパイウエアのごとくに徘徊する経済人 生 不審な言動が判りやすくなります。 (隷従) か死 (消滅) かの二択を与えている、と認識すれ

隠れ蓑にしたかのカルト教団の平和活動を通じるなど、さま で展開する民間 らの団体や、監視・指令組織である駐日大使館の関与のもと 解放軍の直下組織である各種平和団体を通じ、あるいはそれ〇〇 もっと掘り下げれば、中国共産党のチベット、ウィグル かくなる隷従を強いるプロセスを前提に、その正体は人民 の文化交流を通じる。はたまた、宗教法人を

えありません。

作の意図を間接的に伝搬させて行くものと認識して差し支 ざまなプロセスを毛細血管のごとくにめぐらし、その対日工

気の沙汰ではありません。ごく一般の目から見ても違和感を 繰り延べるとすれば、その実情はまさに本末転倒であり、正 て差し支えないでしょう。 禁じ得ないこうした動静は、やはり対日工作の一環とみなし 政府、自治体が外国人、とりわけ特亜の国 たとえば、肝心な日本国民が就職に苦し む現状はさておき、 籍民の雇用促進

用を独占し、さらに、標的民族の血を薄め、 らない事にお気づきいただけるのではないでしょうか。 対して「漢人」(漢民族とはいえない)を大量に送りこみ雇 れらの国々に対する解放 法こそ「手を変え品を変え」でさまざまですが、しかし、そ (侵略) 政策とその本質は何ら変わ 消滅を促 手 12 を示す時節にいたったと謂えましょう。

、イと血の「薄弱化」が加速的に進む結果を招きかねません。 闇政治、 ある限り、 特に、現政権であり、傀儡政権の濃度突出の民主党が政権 国体の弱体化と国力の衰退、そして、メンタリ

行く末には、その結末と同時に、 籍条項を設けない闇の諸法案をはじめ、すべての愚策の 日本自治区化への道が内門

国と謂う大きな家を守るにより相応しい「政治」「政党」を

さらに、心ある良識が一歩でも二歩でもさらに賢明になり、

闇法案からご家族を守り、子供さんを守るために、

いよ、事実に多くの人々が気づき、目覚めた日本人の底強さ ただけるものと思います。このままで良いはずがない。いよ――本への筋道の確立を目指して行くことが、中国共産党の対日 もその一環にあると認識いただければ、なるほど、と納得い を開けて待っている、とこう認識して差し支えありません。 心あるみなさまが違和感を感じられるお身近の諸策、事例 して、 してくれたのが現下の政権と謂えるのかもしれません。 選ぶ。いわば、この大切さを、逆説的にその実態から教え示

上最低の政権には先ず下野いただき、そこを新たな第 解放工作を根本から挫(くじ)くことに通じてまいります。 心ある良識、目覚めた日本国民がこぞって力を合わ 真の日本、真の国思う政治が育ち、広がる毅然たる日 一歩と 史

識の国民を育てるための試練と謂えましょう。先祖 紆余曲折はさまざまにあろうとも、諸 Þ 0

台頭が望まれる真正保守政治

家族で構成されています。国害からご家族を守る。子供さん「 という大きな家である。 政策を尽くすことを保守政治とも謂う。いわば、国は「国家」 自らの国を守り保つことを「保守」と謂います。そのために 保守とは何か。端的に申し上げれば、特別なことではなく、 それが国家を守ることに通じてまいります。 その大きな家は多くの 個

照させていただきたく思います。

一本は必ず毅然となる時が到来します。 すが、国思う勉強会の資料の一つとさせていただき、これか ら差し上げるお話の方で、現下にいたるさまざまな事例を参 以上、 次にお話する事柄もあり、 短縮版となり誠に恐縮 試練は国思う良 H

# 国思う勉強会の開催の目的

られることを願うのみです。この意義と目的をもとにした、

せていただき、また、その中で、提示させていただく資料や、 本国民の一人として、同じく国を思う方々とテーマを共有さ 玉 ]思う勉強会を開催させていただく意義は、ごく普通 の日 ます。

参加されたみなさまの日常のどこかで、

り難い、 と。ひとえにこう願い開催させていただいております。

なくとも、 には利益はありません。人は死して冥土に持参できるものは る「セミナー」の類とは一切異なります。 ゆ あるいはカルト集団などに観られる特定の組織へ誘導す えに、いわゆる、一般に有りがちな、何らかの組織 死して遺せるものはある。この信条でおります。 以って、 私個人 作り

だいている「国思う学校」のモデルの一つにしていただけれ ば有り難い。 の間で自然に広がれば嬉しい。また、一部で提案させていた 先々で、こうした国思う相互の啓蒙の動きが、全国の方々 そう念願するのみです。

私 はさておき、守るべき至宝が存在するこの日本が守

> なさまのご参加をお待ちします。どうぞ宜しくお願いいたし ば、と考えております。主催の勉強会の方へも心共有するみ 淡々とした勉強会で、可能なところまで続けることが出来れ 本日のご静聴まことに有難うございました。



